

氏名 中 村 益 啓

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第624号

学位授与の日付 昭和49年9月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者  
(学位規則第5条第2項該当)

学位論文題目 わが国の人工妊娠中絶に関する衛生学的研究  
— 調査方法とその結果 —

論文審査委員 教授 緒方正名 教授 関場 香 教授 木本 浩

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

今日、人工問題が国際的に注目される中で人工妊娠中絶に対する関心も国際的に高まっている。人工妊娠中絶の実態を地域的な基盤で調査し、あわせてその予後を臨床面から検討した。その結果

- (1) 郵便調査と面接調査では結果が異なり、前者の方が後者より中絶経験有りと答えるものが多い。
- (2) この種の調査を計画する場合、医療機関の協力は必ずしも期待されるほど良好であるとはいえない。
- (3) 中絶経験は既婚婦人の約半数が有しており、地域特性による差はほとんど認められなかった。
- (4) 中絶後の長期間観察による障害および副作用を、中絶経験の有無および術前、術後に分けて比較検討したが差は認められず、わずかに生理の障害が術後に多いことがわかった。
- (5) わが国では受胎調節の失敗が中絶の受療に関連している。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、我国における人工妊娠中絶の現状を正確に把握するために地域を選定し、対象婦人についての郵便調査及び面接調査を行い、人工妊娠中絶の実態の調査方法についての比較を行ったものである。特に調査表についての精細な記載がなされている。

上述の調査方法の検討は斬新なものである。

よって，本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。